2017.12.15

分科会議事メモ（2-3　水産）

・JISNAS は農学系大学が主体であり、水産系大学の参加は多くない（これまで三重大学と広島大学が参加）。まずは JISNAS と JICA の取り組みについて、理解を深めることが重要。
・今回は初めて長崎大学、東京海洋大学に参加いただいたが、JICA の課題別研修を実施している鹿児島大学や北海道大学等にも声をかけていきたい。
・来年 3 月の日本水産学会（場所：東京海洋大学（品川））で説明会を行うのも一案。
・大学としては、留学生数の増加ではなく、途上国にいかに貢献できるかかが重要と考えている。その意味で相手国のニーズの把握が重要。
・課題別研修のラインナップで途上国の主なニーズは広く浅くカバーしていると考えている。ここをエントリーポイントとして、さらに詳細な分野でのニーズとリソースのマッチングを期待している。
・水産分野の課題別研修はスタディツアーやプロジェクトマネージメントの割合が大きく、大学単独で実施するのは困難。同分野で強みを有する開発コンサルタントとの共同実施は有効と考える。
・今回のフォーラムでは、課題別研修の実施を大学にお願いする意図はなく、大学の留学生受入れに同課題別研修の活用可能性を紹介したいと考えている。